近畿財務局　理財部　金融監督第２課　調査官　川岸　淳
平成１５年採用（国家Ⅱ種）
地方公共団体への融資業務に携わっていた期間（平成２８年７月～平成３０年６月）

◆仕事内容

事務所財務課では、①経済調査業務、②地方公共団体への融資業務、③たばこ業務、④交付国債業務を行っていますが、私が直接担当していた地方公共団体への融資業務について紹介します。

地方公共団体が学校や病院などの公共施設を建設する際に、必要とする資金の一部として財政融資資金を貸し付けています。財務課は、地方公共団体からの借入申込の妥当性を審査し貸付を実行したり、貸し手の立場から地方公共団体の財政状況を定期的に確認し、団体に対し「診断表」を交付することで、財政運営で今後注意すべきことなど認識の共有を図っています。

◆仕事の魅力、やりがい

兵庫県下の地方公共団体への貸付額は、平成 28 年度単年で 936 億円です。財務課の職員数は８人ですので、単純計算 1 人 100 億円以上の資金を取り扱っていることになります。ここまで大きな金額を動かす仕事は、本省庁以外では珍しいのではないかと思います。大きな金額ですのでしっかりと審査を行う必要があり、神経を使う面はもちろんありますが、学校や病院が建設され市民の方々が利用している姿など、仕事の結果が目に見えるので、やりがいを感じています。

また、地方公共団体は各省庁の業務を行っているため、財政担当者とのヒアリングの中で財務局（財務省）以外の様々な業務や、それに対する地方公共団体の本音を知ることができ、面白いのと同時に知見が広がります。

◆今までの業務経験について（印象に残っていること、苦労話など）

入局してから 12 年目に、地方公共団体へ２年間出向しました。部局として財政課に予算要求を行ったり（各省庁が財務省にするのと同じ）、花火大会の警備応援に駆り出されたり（みなさんマナーは守りましょうね）、財務局ではできない経験をし、新鮮な気持ちで２年間仕事ができました。この出向経験は、財務課で地方公共団体の担当者と話をする時に少なからず役に立っています。

地方公共団体への出向はまれなケースですが、本省庁への出向や他省庁への出向もあり、様々な経験ができる職場だと思います。

◆近畿財務局の自慢、その他職場の雰囲気など

育児支援の制度が充実しているのはもちろんですが、職場全体が育児に協力的だと感じています。私は子供が産まれた時に「妻の出産にかかる休暇」や「男性職員の育児参加休暇」を利用しましたが、快く利用を認めてもらいました。私の周りには育児休暇を取得する男性職員も増えてきました。

育児支援制度が充実していれば、女性職員は育児しやすい環境に恵まれると思いますし、男性職員は奥さんから喜ばれること間違いなしです。

◆財務局を志望する方へのメッセージ

財務局の業務は、財政部門・金融部門・国有財産部門など多岐に亘っているので、あなたに合う業務がきっと見つかると思います。私が紹介した財務課に興味が湧かなくても、他の先輩からのメッセージで「おっ！」と思う業務が一つでもあれば、ぜひ財務局の業務説明会に参加してみてください。その時に、業務内容だけでなく、職場の雰囲気や育児支援制度など、就職後の気になることを質問すると、具体的なイメージが掴みやすいと思います。

でも、財務局以外の情報収集もして、業務説明会にも行ってくださいね。就職は大きなライフイベントですので、しっかりと選んでください。そうして、あなたが最後に選んだ職場が財務局であれば幸いです。一緒に働ける日を楽しみにしています。